



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4608		
科目名	競技スポーツ専門演習Ⅱ		
担当教員	上野 広治		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 4		
講義室	1402	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F1探究と論拠-20% G1状況把握-30% I2量的分析-20% I3情報分析-20% J2創造的思考-5% M1統合的・応用的学修-5%		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	競技スポーツ専門演習Ⅰに引き続き多様な実践知について、担当教員がオムニバス形式で様々な内容の授業を展開し、学生自身のこれまでの学びをより深化させることを目的とした授業を行います。競技スポーツ専門演習Ⅱではより実践的な研究活動を行うための授業が展開されます。研究領域における先行研究の精読を通して、研究の方法や示される結果の解釈、加えてその結果の解釈に関する積極的な他者とのディスカッションを行っていきます。この授業は、4年次のより専門的な研究活動に直接的に必要な科目となっており、授業形態は演習形式で進行し、講義、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを実施します。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：スポーツ科学、実践知		

授業の趣旨	■副題 スポーツ科学の様々な分野における実践的な研究に触れ、幅広くスポーツ科学についての学びを深めましょう。 ■授業の目的 スポーツの現場をより意識した多様な分野の実践的な研究に触れ、幅広い知識を身につけることにより、自身の競技力向上あるいは競技力向上のサポートにつながる研究を取り上げ、これまでの学びをより深化させことを目的とします。 ■授業のポイント スポーツ科学の中でも特に実践的な研究領域を専門としている教員が、それぞれの研究領域における先行研究や関連資料を基にして、研究の方法や示される結果について解説することで、スポーツの現場をより意識した様々な研究に触れることを目指します。さらには3年次以降のより専門的な研究活動へつなげるため、自身の競技力向上あるいは競技力向上のサポートにつながる幅広い知識の獲得を目指し学修します。	
総合到達目標	■様々な分野の実践的な研究に触れ、幅広い知識を身につけることができる。また自身の競技力向上、あるいは競技力向上のサポートにつながる実践的な研究方法について説明できる能力を修得する。 ・様々な分野の先行研究や関連資料などから、研究の概要やその方法について説明することができる。（第2、5、9、12回） ・自身の競技力向上につながる実践的研究について理解し、説明することができる。（第3、6、10、13回） ・プレゼンテーション等を通して、自身の研究について説明することができる。（第4、7、8、11、14、15回） ・実践的研究について議論を通してコミュニケーションすることができる。（第4、7、11、14回）	
成績評価方法	■プレゼンテーション等（40%） 適用ルーブリック F1 I2 I3 J2 （評価の観点）様々な分野における実践的な研究方法を理解できているかどうかを確認します。 （フィードバック方法）教員が確認をし、それぞれに対してフィードバックします。 ■授業参加度（60%） 適用ルーブリック G1 J2 M1 （評価の観点）研究活動への取り組みやレポート等、また学生間の反省的議論などを総合的に評価を行います。 （フィードバック方法）毎授業後に講評を行います。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。また自身が考える研究とはどのようなものであるか整理しておく。 ④復習（120分） 説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。
	2	①授業テーマ 実践研究⑤－1 ②授業概要 授業の進め方について説明を行い、研究の概要やその方法について理解し、先行研究や関連資料を基に実践的研究を学修するための準備をする。（F1、M1） ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。また自身が考える研究とはどのようなものであるか整理しておく。 ④復習（120分） 説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。
	3	①授業テーマ 実践研究⑤－2 ②授業概要 スポーツ実践の現場を意識した、実践的研究を行う。（G1、I2、I3） ③予習（120分） 自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習（120分） 実践的研究で得られた結果についてまとめておく。
	4	①授業テーマ 実践研究⑤－3 ②授業概要 収集したデータを分析し、プレゼンテーションなどによって説明することができるようになる。（F1、G1、I2、I3、J2） ③予習（120分） 前回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。 ④復習（120分） 実践研究①で行った研究内容について振り返りを行う。

5	①授業テーマ 実践研究⑥ー1 ②授業概要 授業の進め方について説明を行い、研究の概要やその方法について理解し、先行研究や関連資料を基に実践的研究を学修するための準備をする。(F1、M1) ③予習(120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(120分) 説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。
6	①授業テーマ 実践研究⑥ー2 ②授業概要 スポーツ実践の現場を意識した、実践的研究を行う。(G1、I2、I3) ③予習(120分) 自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習(120分) 実践的研究で得られた結果についてまとめておく。
7	①授業テーマ 実践研究⑥ー3 ②授業概要 収集したデータを分析し、プレゼンテーションなどによって説明することができるようになる。(F1、G1、I2、I3、J2) ③予習(120分) 前回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。 ④復習(120分) 実践研究②で行った研究内容について振り返りを行う。
8	①授業テーマ 実践研究の振り返り③ ②授業概要 ここまで行なった実践研究の内容を整理し、説明することができるようになる。(F1、G1、I2、I3、J2、M1) ③予習(120分) 第2回～第7回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。 ④復習(120分) 実践研究⑤及び⑥で行った研究内容について振り返りを行う。
9	①授業テーマ 実践研究⑦ー1 ②授業概要 授業の進め方について説明を行い、研究の概要やその方法について理解し、先行研究や関連資料を基に実践的研究を学修するための準備をする。(F1、M1) ③予習(120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(120分) 説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。
10	①授業テーマ 実践研究⑦ー2 ②授業概要 スポーツ実践の現場を意識した、実践的研究を行う。(G1、I2、I3) ③予習(120分) 自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習(120分) 実践的研究で得られた結果についてまとめておく。
11	①授業テーマ 実践研究⑦ー3 ②授業概要 収集したデータを分析し、プレゼンテーションなどによって説明することができるようになる。(F1、G1、I2、I3、J2) ③予習(120分) 前回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。 ④復習(120分) 実践研究③で行った研究内容について振り返りを行う。
12	①授業テーマ 実践研究⑧ー1 ②授業概要 授業の進め方について説明を行い、研究の概要やその方法について理解し、先行研究や関連資料を基に実践的研究を学修するための準備をする。(F1、M1) ③予習(120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(120分) 説明された研究内容について再度確認し、どのような研究を行うか振り返りを行う。
13	①授業テーマ 実践研究⑧ー2 ②授業概要 スポーツ実践の現場を意識した、実践的研究を行う。(G1、I2、I3) ③予習(120分) 自身が実践する研究の方法について手順などを確認しておく。 ④復習(120分) 実践的研究で得られた結果についてまとめておく。
14	①授業テーマ 実践研究⑧ー3 ②授業概要 収集したデータを分析し、プレゼンテーションなどによって説明することができるようになる。(F1、G1、I2、I3、J2) ③予習(120分) 前回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。 ④復習(120分) 実践研究④で行った研究内容について振り返りを行う。
15	①授業テーマ 実践研究の振り返り④ ②授業概要 ここまで行なった実践研究の内容を整理し、説明することができるようになる。(F1、G1、I2、I3、J2、M1) ③予習(120分) 第9回～第14回授業で行った実践的研究によって得られたデータをまとめておく。 ④復習(120分) 実践研究⑦及び⑧で行った研究内容について振り返りを行う。

関連科目	競技スポーツ専門演習Ⅰ（SSCS4607S）、競技スポーツ専門演習Ⅲ（SSCS4609S）
教科書	
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知する。 ■オフィスアワー 開講時に告知する。またそれ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとれば研究室で対応する。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.